

入国者に対する検疫業務

◎目的

- 政策別コスト情報は、省庁の政策ごとのコストを表示したセグメント情報であり、人件費や事務費を含むフルコストで特定の政策に係る費用を一覧できるようにすることにより、①コストの経年変化や他事業との比較分析を可能とし、②行政活動に関する国民の理解の促進を図ること等を目的として作成・公表しております。一方、政策別コスト情報には一つの政策単位に複数の事業が含まれており、コストの集計単位が大きいためフルコストの分析が難しいといった課題があります。
- 財政制度等審議会財政制度分科会法制・公会計部に設置した「財務書類等の一層の活用に向けたワーキンググループ」での議論をとりまとめ、平成27年4月30日に公表した「財務書類等の一層の活用に向けて（報告書）」では、「フルコスト情報の把握」をあげております。

「財務書類等の一層の活用に向けて（報告書）」（抜粋）

第2 活用の方向性

(3) 行政活動の効率化・適正化のための活用

インフラ資産台帳の整備やフルコスト情報の把握・活用により、行政活動の効率化・適正化が可能となるのではないかと考えられます。

- 今回「政策別コスト情報の改善」の取組として、試行的に代表的な個別事業についてのフルコストを算定し、公表することとしました。
- この取組により、以下のような効果があると考えられます。

- ① 個別事業ごとに要する人件費や事務費に加え、減価償却費や退職給付引当金繰入額といった現金収支を伴わないコストを含むフルコストが明らかになる。
- ② 国から交付された資金が最終的に国民に行き渡るまでにどのようなコストがどのくらい発生しているのかが把握できるようになる。
- ③ 利用者1人当たりなどの「単位当たりコスト」を算出することにより、事業のボリュームを把握できるとともに、事業の効率性の分析が可能となる。

- 厚生労働省の省庁別財務書類や政策別コスト情報の参考情報として、個別事業のフルコスト情報を国民の皆様が開示することにより、国民の皆様は厚生労働省の政策に関する理解を深めていただくとともに、厚生労働省職員のコスト意識を向上させ、より効率的・効果的な事業の執行に努めてまいります。

◎フルコスト情報の見方

(1) 業務の概要

この業務がどのような内容なのか、誰のためにどのように役立つのか簡潔に記載しています。

(2) 単位当たりコスト

フルコストをその行政サービスを利用した利用者数などで割って算出しています。業務の大まかなボリュームを把握するための指標となります。

(3) 自己収入

当該業務の実施に伴って発生するコストの財源として、税以外で直接受け入れた収入を示しています。

(4) フルコスト・単位当たりコストの推移

フルコストの金額及び単位当たりコストの3年間の推移を表しています。

(5) フルコストの性質別割合

フルコストの総額におけるコストの内容の割合について表したものです。当該業務においてどのようなコストの割合が多いのか明らかになります。

(6) 財務分析

26年度における当該業務に係る取組について財務情報を使って説明します。

(7) 単位当たりコスト分析

単位当たりコストが増減した要因を分析して説明します。

政策:1 安心・信頼してかかれる医療の確保と国民の健康づくりを推進すること

入国者に対する検疫業務

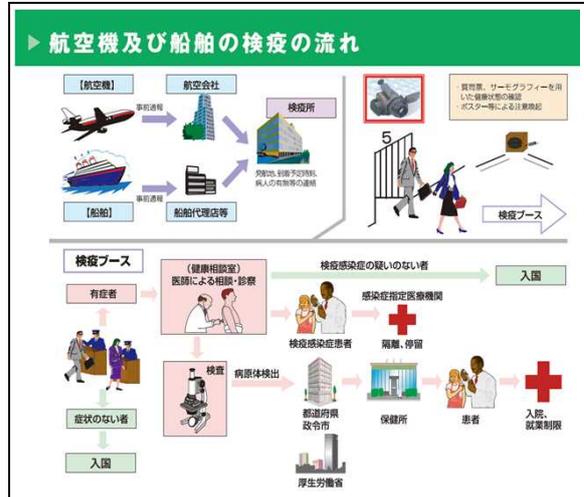
○業務の概要

入国者に対する検疫業務は、我が国に常在しない感染症の病原体が、船舶又は航空機を介して国内に侵入することを防止するために、検疫法に基づいて、外国から来航した船舶、航空機及びその乗組員、乗客に対して、病原体の有無に関する調査や診察などを行うとともに、患者を発見した場合には、隔離、停留及び消毒等の措置を講じるといった、一連の業務並びに港湾区域の衛生措置を行っています。

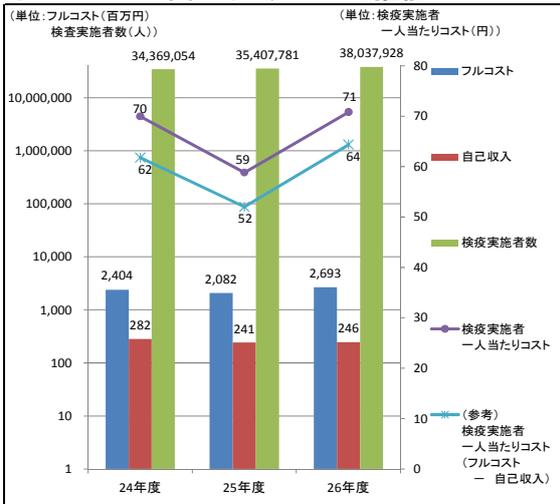
<p>検疫実施者一人当たりコスト 【フルコスト ÷ 検疫対象者数】</p> <p>71 円</p> <p>(参考) 検疫実施者一人当たりコスト 【(フルコスト - 自己収入) ÷ 検疫対象者数】</p> <p>64 円</p>
--

<p>入国者に対する検疫業務にかかるフルコスト</p> <p>2,693 百万円</p>

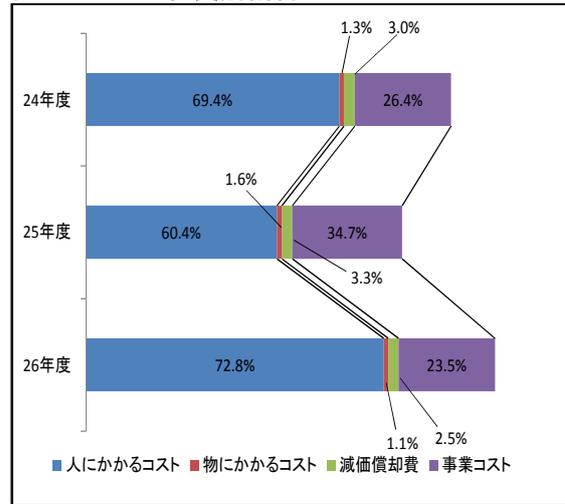
<p>入国者に対する検疫業務にかかる自己収入</p> <p>246 百万円</p>
--



○フルコスト・単位当たりコストの推移



○フルコストの性質別割合



(注1) 構成比は、フルコストの明細に表示されている計数を用いて計算し、小数点第2位を四捨五入して表示しているため、合計が100%とならない場合があります。

1. 財務分析

入国者に対する検疫業務の26年度のフルコストの性質別割合は「人にかかるコスト」が72.8%、「物にかかるコスト」が1.1%、「庁舎等(減価償却費)にかかるコスト」が2.5%、「事業コスト」が23.5%となっており、「人にかかるコスト」の割合が高いといった特徴があります。

これは、入国者に対する検疫業務が、国内に常駐しない感染症が国内に侵入することを防止するため、検疫官により入国者一人ひとりに対して行われるものであることから、人件費の割合が高い事業構造となっています。

26年度においては、人にかかるコストが増加(25年度:1,257万円→26年度:1,961万円)したことから、フルコストも増加しています。

2. 単位当たりコスト分析

検疫実施者数当たりのコストは、増加(25年度:59円→26年度:71円)しております。このコストの増加の要因は、人にかかるコスト(※)の増加によるものです。人にかかるコストの増加の要因としては、エボラ出血熱等の水際対策強化に伴う検疫官の増員もありません。

※ 「人にかかるコスト」については、検疫所における「入国者に対する検疫業務」と「食品に対する検疫業務」に係るそれぞれの事業コストの按分により便宜的に算定しているため、実際に要したコストを示すものではないことに留意する必要があります。

フルコストの明細

(単位:百万円)

24年度			25年度			26年度											
I 人にかかるコスト			1,668			人にかかるコスト			1,257			人にかかるコスト			1,961		
(主な内訳)	金額	構成比	(主な内訳)	金額	構成比	(主な内訳)	金額	構成比	(主な内訳)	金額	構成比	(主な内訳)	金額	構成比			
人件費	1,391	83.4%	人件費	1,122	89.3%	人件費	1,753	89.4%									
賞与引当金繰入額	189	11.3%	賞与引当金繰入額	79	6.3%	賞与引当金繰入額	122	6.2%									
退職給付引当金繰入額	88	5.3%	退職給付引当金繰入額	56	4.5%	退職給付引当金繰入額	86	4.4%									
II ①物にかかるコスト			31			①物にかかるコスト			33			①物にかかるコスト			30		
(主な内訳)	金額	構成比	(主な内訳)	金額	構成比	(主な内訳)	金額	構成比	(主な内訳)	金額	構成比	(主な内訳)	金額	構成比			
減価償却費	31	100.0%	減価償却費	33	100.0%	減価償却費	30	100.0%									
②庁舎等(減価償却費)			71			②庁舎等(減価償却費)			69			②庁舎等(減価償却費)			68		
III 事業コスト			634			事業コスト			723			事業コスト			634		

(単位:百万円)

① フルコスト合計 (I+II①+II②+III)	2,404	フルコスト合計 (I+II①+II②+III)	2,082	フルコスト合計 (I+II①+II②+III)	2,693
--------------------------------------	-------	------------------------------------	-------	------------------------------------	-------

○自己収入

(単位:百万円)

24年度			25年度			26年度											
② 自己収入			282			自己収入			241			自己収入			246		
(主な内訳)	金額	構成比	(主な内訳)	金額	構成比	(主な内訳)	金額	構成比	(主な内訳)	金額	構成比	(主な内訳)	金額	構成比			
事業収入	282	100.0%	事業収入	241	100.0%	事業収入	246	100.0%									

(単位:人)

③ 単位:検査実施者数	34,369,054	単位:検査実施者数	35,407,781	単位:検査実施者数	38,037,928
--------------------	------------	------------------	------------	------------------	------------

(単位:円)

検査実施者1人当たりコスト (① ÷ ③)	70	検査実施者1人当たりコスト (① ÷ ③)	59	検査実施者1人当たりコスト (① ÷ ③)	71
----------------------------------	----	----------------------------------	----	----------------------------------	----

(単位:円)

(参考)検査実施者当たり1人 コスト (((① - ②) ÷ ③)	62	(参考)検査実施者当たり1人 コスト (((① - ②) ÷ ③)	52	(参考)検査実施者当たり1人 コスト (((① - ②) ÷ ③)	64
--	----	--	----	--	----

【参考】フルコストの算定方法について

入国者に対する検疫業務に係るフルコストの算定にあたっては、政策別コスト情報を活用して算定しております。そのため、政策別コスト情報の共通費の配分方法を踏まえて各コストの算定をしております。

1. 人にかかるコスト

検疫所における「入国者に対する検疫業務」と「食品に対する検疫業務」に係るそれぞれの事業コストの按分により便宜的に算定しております。

2. 物にかかるコスト

検疫所における「入国者に対する検疫業務」と「食品に対する検疫業務」に係るそれぞれの事業コストの按分により便宜的に算定しております。

3. 庁舎等（減価償却費）

検疫所における「入国者に対する検疫業務」と「食品に対する検疫業務」に係るそれぞれの事業コストの按分により便宜的に算定しております。

4. 事業コスト

入国者に対する検疫業務に係る事業コストとして認識しているコストを計上しております。

5. 自己収入

海外渡航者を対象とした黄熱等の予防接種に係る手数料等を計上しております。

特記事項

※ フルコストのうち、「人にかかるコスト」、「物にかかるコスト」及び「庁舎等にかかるコスト」については、検疫所における「入国者に対する検疫業務」と「食品に対する検疫業務」に係るそれぞれの事業コストの按分により便宜的に算定しているため、実際に要したコストを示すものではありません。